



REYLIA SLABY

大阪出身 23 歳

[写真フィロソフィー]

人生における出来事—ごくありふれた日常の出来事や特別な出来事—に美を見いだす事を目標にしています。一般の方が、「普通」だと思っている光景を壮大な光景に変化させたり、心に抱える複雑な感情を写真で表現し、独特の世界感を描きます。



岡本昇会長
ごあいさつ



福家会長よりバトンを引き継ぎ新たなポートレートアカデミーオブジャパンを皆さんと一緒に創り上げていくことにワクワクしています。

PAJ21世紀活動方針で写真館業界をリードするフロントランナーである。と自らを定義づけた私たちは写真業界にとって絶えず刺激的な存在でありたいものです。筋肉は刺激を与え続けるとどんどん衰えていきます、しかし刺激を与えれば年齢にかかわらず強くなっていきます。自分自身にそしてPAJを通し

て写真業界にも刺激を与え続けられる組織であるために、あらたに『Stimulate Photography 写真に刺激を!』をスローガンとして掲げたいと思います。

大会テーマは「写真館ってかっこいい!」です。今回の研究大会にもテーマにふさわしい人物を講師としてお迎えしています。新役員全員で刺激的なプログラムを考えてみました。大会が終わったときに心地良い疲労感と心と身体にエネルギーが満ちあふれているを感じていただければ幸いです。

PAJ

Stimulate Photography

第112回大会

大会テーマ「写真館ってかっこいい!」

日時 2016年2月17日(水)

12:30 受付

13:00 開会

2016年2月18日(木)

16:00 終了予定

参加申し込み

<http://www.portrait-ac.jp>

場所 東京椿山荘

<http://www.chinzanso.com/>

東京都文京区関口2-10-8

TEL 03-3943-1111 (代表)

レリア・スラビー (REYLIA SLABY) との出会い 講師紹介に替えて 岡本昇

私が彼女と出会ったのはわずか2年前。カナダ人で国際弁護士でもある私の友人に連れられて、八尾市の岡本スタジオへやってきた20過ぎの写真家志望女の子でした。レリアさんは、ご両親はアメリカ人ですが奈良生まれの奈良育ち、日本で生まれ育ったアメリカ国籍のお嬢さんです。『将来写真家を目指したいけどどのようにすればよいかわからないので、何かアドバイスを』という相談でやってきました。友人の友達の友達のお嬢さんと言うことで私はまたその友達という関係ですが、まあいいか、と軽い気持ちで相談を受けました。事前に彼女のホームページとブログをチェックして感じた事は、とても感性が鋭い女性で、彼女独自の精神世界を描いていることでした。私たちと同じ人物を被写体にはしていますが、完全なFine Art 純粋芸術を目指していることがわかりました。そしてブログを読んで驚きました。なんとそこには、「イタリアヴォーグに写真を送ったら掲載するとメールが今日来た、うれしい!!」とあるではないですか。え?ヴォーグしかも最もファッションブルな

イタリアヴォーグに写真が掲載?私は何も経験もキャリアもない素人の女の子がまさか?と目を疑いましたが、同時にどんな女性なんだろう?という好奇心も駆り立てられました。そして同時に芸術写真を目指している若い女性ということで、ひょっとして気むずかしい女子じゃないのかな...と変な先入観にもとられていました。しかし実際にお会いしてごく普通のよく笑う可愛い女の子だったので一安心。まさに親子ほどの年齢差があるわけですが、私のポートフォリオを見せてプロの写真業界を一通り説明しました。そしてこれからどうしたらいいか?の問いには正直困りました。アートを収入を得るのは本当に難しく、まさに何のキャリアもない素人の女の子が趣味の世界から入っていくには壁が高すぎます。おまけにただ日本生まれの日本育ちにも関わらず日本語が苦手で会話はほとんど英語だったので、助手で働くにもまずもって日本語を勉強しないと...と説教しました。でもどうして日本で育っているのに日本がうまくないの?という私の質問の答えにさらに驚きました。彼女実は大学は、おろか幼稚園から小学校中学校とまったく生まれてこのかた学校に通っていないとのことでした。え?そんなこと許されるの?と思ったのですが、日本人でない彼女は義務教育の為の通学は必要なくホームスクールという方法で教育を受けていたそうです。しかしその家庭教師も10才頃に断ってそれ以

来ずって独学だったそうです。しかも彼女は4人姉妹の次女で姉妹の誰もが学校に行っていないという徹底ぶり。さすがの私もこれには驚きました。しかし自らイタリアヴォーグに売り込むプレゼン力、発信力はたいしたものホームページもアマチュア写真家としてはかなりレベルが高かったため、この感じて情報発信をつづけてたらいよいよ!とアドバイスを別れたのですが、そして数ヶ月後もっと驚いた報告が彼女からありました。

それはなんとあのメジャーアーティストのミスチルこと『Mr.Children』から新曲のCDジャケットの撮影依頼を受けたとのこと。???なんで?ですよ。実は彼女私のアドバイス通り発信を続けそのひとつがMr.Childrenの目に留まったようです。素人の女の子がいきなりですよ。しかしその実力はやはり本物でした、大々的に発表されたミスチルの新曲発表とともに大きく引き伸ばされたジャケット写真はかなり個性的なものでした。そして彼女の躍進はまだ続き「なんとアドビの25周年を記念して発表された25才以下の世界のトップ25名のアーティストに私が選ばれました。」と10月の彼女のブログで発表していました。これ以上の説明はもはや不要ですよ。貴方自身の目で彼女の個性豊かな感性とプレゼン力、発信力に触れてください。私の一押し講師です!

福家 嘉孝 「OHENRO」 撮影紀行



伊藤 基 念願叶って 新スタジオ



林 義明 はじめまして マイスタイル!



昨年春まで、弘法大師四国八十八ヶ所開設1200年で賑わった。今年は閑年。第八十八ヶ所結願の寺大窪寺(香川県)から廻る逆打ちがご利益があると云われる。香川県観光振興課からの依頼で、若い女性が香川の札所を廻りながらアートに触れ、美味しい物を捜し、修行の場を経験、悟りの境地を目指す旅を3部の広報用冊子にするという企画の撮影を頼まれた。

建物内部は、メインスタジオ以外に館内さまざまな場所で撮影ができるようにと、そして津島神社の参道(天王通り)に建つスタジオの外観は、古い町並みの景観を考慮した和洋折衷の洋館をイメージしてみました。そのスタジオを紹介します。

スタジオリニューアルを通して、今と以前の違い、そして今後への想いを自己紹介も交えて報告させていただきます。
プロフィール:
1973年 山口県周南市生まれ。
1993年 東京工芸大学短期大学部写真学科卒業。
1998年 アメリカブルックス写真大学卒業、家業の株式会社 林写真館入社。
2007年 株式会社 林写真館 代表取締役社長就任。
2015年3月 林写真館スタジオリニューアルオープン。

5月から8月までの日程。主役はうどん県副知事を、要潤と務める女優の木内晶子。県内23ヶ所の札所を廻ったが、改めて弘法大師が涅槃(悟り)の道場として讃岐を選んだ事に納得。私自身も12回の遍路旅をしていた事が今回の撮影で大変役立った。